

地域貢献度
ランキング **全国No.1**

NAGOYA CITY UNIVERSITY

名古屋市立大学の地域貢献 2023

明るい未来を切り拓く



持続可能な社会を目指す名古屋市立大学の地域貢献を紹介

ごあいさつ

名市大は、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「社会貢献」を推進するため、平成26年度に「社会連携センター」を設置し、名市大が有する資源と学外のニーズのマッチングに積極的に取り組んでいます。

また、明るい未来を切り拓く指針として令和3年2月に策定した「名市大未来プラン2021」を着実に実行するために、令和4年1月に「研究科等未来プラン2021」を策定し、社会貢献に関する部門について10のプランと具体的な36の実行項目を掲げて日々邁進しており、教育研究成果を地域に還元するため、名古屋市役所と積極的に連携しています。

本パンフレットでは、名市大での社会貢献活動の一端を紹介しております。皆様に、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

今後とも、地域の知の拠点として、より一層力を入れて社会貢献に取り組み、地域社会の発展に寄与してまいります。引き続き皆様からの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 山本 明代

社会貢献未来プラン2021 ～地域に根差し、世界に発信するNCUの挑戦～

「名市大未来プラン2021」に基づいて策定された「研究科等未来プラン2021」の一つとしての「社会貢献未来プラン2021」は、社会貢献に関する大きな10のプランと具体的な36の実行項目を掲げ、名市大の新たな社会貢献の取り組みが動き出しています。



【名市大未来プラン2021】

SDGs17の目標達成に向けた取り組みの推進	学修者が自分自身を改革するための継続的な学びの環境の創出
持続可能な地域づくりへの貢献	名古屋市が抱える課題の解決への貢献

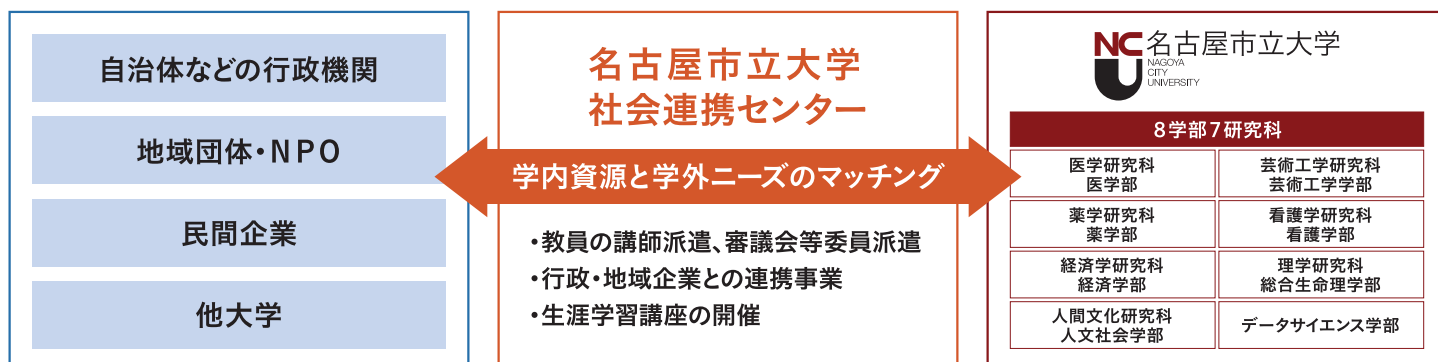
【社会貢献未来プラン2021】

10のプラン 36の実行項目

社会連携センター

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターでは、皆様から連携事業や講師派遣などのお問い合わせがございましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。

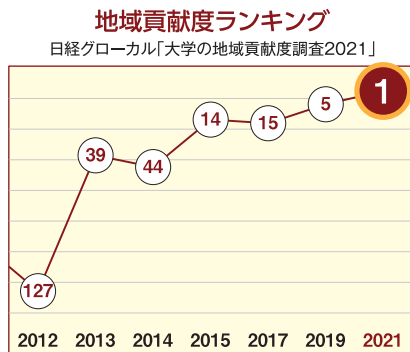
「大学の力で地域の課題を解決したい」、「講座の講師をお願いしたい」などのお悩みには、私たちが相談相手になりますのでお気軽にご相談ください。



地域貢献度 ランキング 全国No.1

日本経済新聞社が行った「大学の地域貢献度に関する全国調査2021」において、本学は全国総合第1位を獲得しました。このランキングは、日本経済新聞社が全国761の国公立大学を対象に、大学が地域社会にどのような貢献をしているかを探る「地域貢献度」の調査を行い、「大学の組織・制度」、「学生、住民」、「企業・行政」、「働く場としての大学」、「SDGs・コロナ対応」の5つの分野の得点を合計して順位付けしたものです。

新型コロナウイルス感染症の影響が大きい昨今の社会情勢の中でも、本学の教員、学生の日頃の積極的な社会貢献の取り組みと、地域の皆様に支援と協力をいただいた結果が評価され、今後の更なる貢献活動の励みとなっています。



※2022年度は本調査は行われませんでした。

WEB版地域連携事例集

次項以降の事例の他、本学の主な地域連携事例について、事例ごとに内容・ポイント・事業実施者などを1つの個票としてまとめ、集約した「WEB版地域連携事例集」を公開していますので、是非ご覧ください。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/index.html>



病院における地域医療への貢献

令和5年4月に、名古屋市立緑市民病院・名古屋市厚生院附属病院が名古屋市立大学医学部の附属病院となり、「みどり市民病院」・「みらい光生病院」に生まれ変わりました。これにより、名古屋市立大学病院・東部医療センター・西部医療センターとあわせて、附属病院群で約2,200床の病床数となり、5つの病院からなる附属病院群として、各病院が特長を生かしながら、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供していきます。



■コロナワクチン大規模集団接種への職員派遣

新型コロナウイルスワクチンの接種機会提供のため、名古屋市が実施した大規模集団接種へ本学から医師・歯科医師・看護師・薬剤師を派遣し、予診・接種・薬剤管理等の業務に従事しました。また、接種希望者の増加への対応として本学看護学部棟での接種会場の開設、運営に協力しました。

開設場所	期 間	派遣人数 (延べ)
日本ガイシ フォーラム	令和4年 4月15日(金)～令和4年 5月31日(火)	588名
	令和4年 7月 8日(金)～令和4年 7月17日(日)	110名
イオンタウン 有松	令和4年 7月20日(水)～令和4年 8月31日(水)	478名
	令和4年11月11日(金)～令和5年 1月31日(火)	708名
名古屋市立大学	令和4年12月の土曜日・日曜日	96名

※期間中に休場日あり

■広域災害救急医療情報システムの入力講習会

地域全体の災害対応能力の向上を目指して、医療機関が災害時に迅速に入力できるよう講習会を開催しました。



行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。

■名古屋市選挙管理委員会公式映像の制作



芸術工学部の学生が名古屋市選挙管理委員会公式映像を協働作成しました。18歳の若者の選挙参加を促すような楽しいコメディタッチの作品を制作しました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/new/s/2022-1125/>



【名古屋市選管公式】「18歳になったら選挙にいこう!!」第26回参議院議員通常選挙

■瑞穂区内の高校での選挙出前トーク



人文社会学部の学生が瑞穂区役所と連携し、名古屋女子大学高校の2年生を対象に、選挙出前トークを担当しました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/media/20221202press.pdf>



■名古屋市感染症対策室での活動



名古屋市感染症対策室でエイズ予防啓発活動を行いました。エイズデーに合わせてラジオへの出演、オリジナル啓発資材の配布を行いました。

■SDGsセンターシンポジウムを開催



「SDGsが繋ぐ名古屋市と未来」と題して、健康と福祉のために大学がどのように貢献できるかについて考えるシンポジウムを開催しました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgs-practice/202303001/>



■名古屋小中学生 STEAM ラボ



名古屋市教育委員会と連携して名古屋市在住の小中学生を対象にウイルスとロボット探究コースの2講座を開講。参加した小中学生は新しい発見に目を輝かせていました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/202302061000/>



■薬学教室



瑞穂区役所と連携して小中学生を対象に血痕や指紋の検出の体験を通して、科学とその応用について講義を行いました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/07271000/>



■瑞穂区連携「おもしろ科学実験教室」



2年ぶりの夏休み実験教室に、子供たちの笑顔が戻ってきました。瑞穂区役所との連携事業として、小中学生が総合生命理学部の教員や大学生と実験を楽しみました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/07271000/>



■ようこそ大学へ!プロジェクト



名古屋市子ども青少年局と連携して、児童養護施設等で生活する子どもたちの「一日名市大生」企画を行いました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/sdgs-practice/018977/>



■サイエンスパートナーシップイベント



市科学館と連携して次世代を担う中高生を対象に「ヒトに関わる生命科学」を開催し、「生命科学」に関する最先端研究、科学館の新展示室の魅力を紹介しました。

https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/10261000_1/



■環境省エコチル調査参加者との交流企画



エコチル調査参加児童に向け、「さかなクン」から、クイズを交えて環境保全の大切さを教えてもらう交流企画を開催しました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/202302071000/>



企業との連携

教員の知識を還元しています。また、教員の指導のもと、学生ならではの視点による実践的な調査・研究を行い、企業に企画提案を行っています。



■中部国際空港で生理用品の提供を あらかずピクトグラム開発

現在中部国際空港第1ターミナル国内線制限エリア内の女性用トイレに、無料で生理用品を利用できるサービスが導入されています。どこで入手できるのかわからないという声が多いため、必要とする人が迷わず利用できるよう、提供場所を分かりやすく案内するピクトグラムを開発し、空港内案内板に設定しました。

■ジェイアール名古屋タカシマヤ主催 『やさしい暮らし学園祭』に出店

ジェイアール名古屋タカシマヤ主催『やさしい暮らし学園祭』にて、経済学部の学生達が企画開発した商品(絵本・廃プラリサイクル品・廃棄野菜等を活かした雑貨等)を展示販売しました。



■株式会社ヴィ・ド・フランスとの連携

経済学部の学生が株式会社ヴィ・ド・フランスと連携して、「四季(冬)を取り入れた商品」を基本コンセプトとしたパンの新商品を開発。2023年1月16日より上前津の店舗にて販売しました。

<https://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/archives/8033>



■「SDGs探検隊～街歩きで見つける 私たちのサステナビリティ～」

株式会社愛知銀行との連携事業として、「SDGs」をテーマにした学習講座を開催しました。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/10111000/>



■読売新聞社共催のオンライン公開講座を開催

読売新聞中部支社との包括連携協定締結を記念し、オンライン公開講座『デジタル社会を切り拓く～データサイエンスへの誘い～』を開催しました。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/event-list/11081600/>



地域住民・団体との連携・交流

地域に根ざす公立大学として、地域の課題解決・活性化に取り組んでいます。



■ボードゲーム「HAMON」の開発

- ・学生が独自に考案したボードゲーム「HAMON」を用いて、福祉施設にて高齢者を対象とした認知症予防のためのイベントを開催しました。
- ・地域商店街のイベントやフリーマーケットに出店しました。

<https://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/archives/8008>



■中学生 AIプログラミング教室

理学研究科では、名古屋少年少女発明クラブと連携し、毎年8月に中学生対象のAIプログラミング教室を開催しています。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/event-list/06021645/>



教員の派遣

本学では、教育研究成果の地域への還元の一環として、自治体・地域団体等が主催する講演会・研修会等の講師または審議会等の学識経験者として教員を派遣しています。



■「ウェルフェア2022」にて講演・出展をしました

「ウェルフェア2022」で開催された「ウェルフェア健康大学」にて、本学の教員7名が「身近な健康」など多彩なテーマで講演しました。

https://www.nagoya-cu.ac.jp/science_news/06271113/



■審議会等への派遣

本学の教員が自治体の各種審議会等委員に就任し、政策形成に寄与しています。

主な審議会等への就任実績

- 名古屋市環境審議会
- 名古屋市防災会議
- 健康なごやプラン21推進会議

名古屋市の審議会等委員就任教員数

(令和4年度延べ数) **143人**

■その他の教員派遣実績

- 教えて博士!なぜ?なに?ゼミナール

生涯学習講座

本学は、幅広い世代に生涯学習の機会を提供するとともに、大学施設を開放するなど、「地域に開かれた大学」として社会貢献に努めています。

■市民公開講座

7研究科及び附属病院を持つ本学ならではの講座として、多彩なテーマを揃え、市民の皆様へ専門的な知識をわかりやすく解説しました。



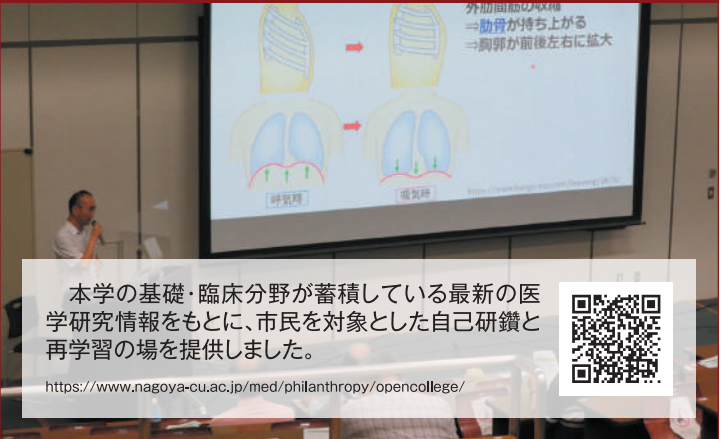
https://www.nagoya-cu.ac.jp/science_news/280903/



■リカレント教育講座

本学では高等教育機関の特性を生かし、医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)教育に力を入れています。

最新医学講座 オープンカレッジ



本学の基礎・臨床分野が蓄積している最新の医学研究情報をもとに、市民を対象とした自己研鑽と再学習の場を提供しました。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/med/philanthropy/opencollege/>

関連講座一覧

医療・保健学びなおし講座

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/index.html>



名古屋市立大学薬学部卒業教育講座

<https://www.nagoya-cu-yakuyukai.jp/sotugo>



看護研究サポート個別相談

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/research-support/>



■都市政策研究センター共催 データサイエンス学部開設記念シンポジウム

よりよい未来社会Society5.0の実現と都市について考える一助として学部開設記念シンポジウムをYouTubeで限定公開・配信しました。



<https://cupre.ncu.nagoya/symposium-2022/>



■薬学研究科薬用植物園市民公開講座

薬用植物園で栽培している植物の特徴や利用方法について解説します。



<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/yse/kokai-j.html>



大学・病院施設 地域への提供

各種資格試験や学術講演会等の開催会場として、教室、ホール、会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。また、学術研究を目的とした市民の方に対する所蔵図書等の閲覧・貸出も行っています。

(令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般、本学卒業生の方の図書館利用を停止しました。利用に関する詳細は本学Webサイトをご確認ください)

■令和3年度

生涯学習講座			大学・病院施設の貸付件数	総合情報センター(図書館)の市民利用者数
講座数	受講者数	総時間数		
78	2,952人	560.7時間	848件	361人

イベント等開催報告

本学が開催した生涯学習講座などのイベントの様子は大学ウェブサイト上で公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/>



「名市大ブックス」シリーズ継続発行中!

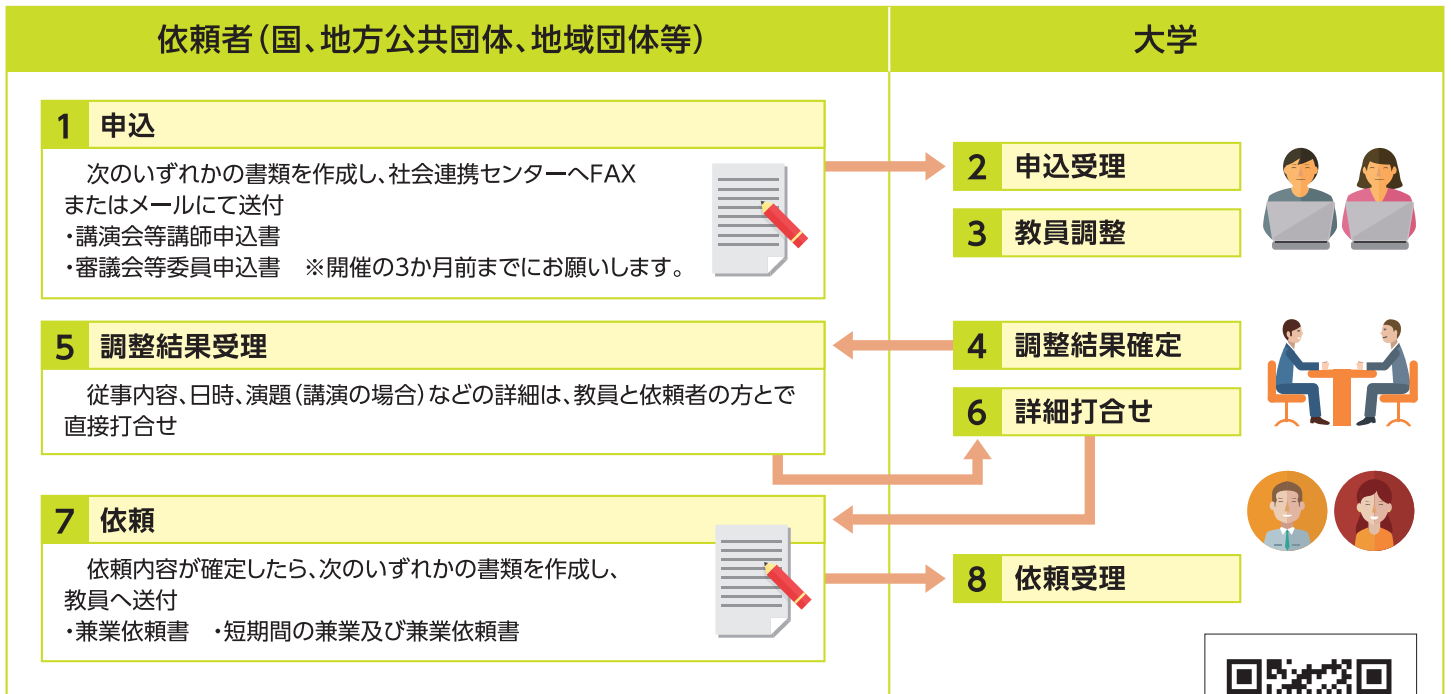


本学の社会貢献活動として発行を続けている書籍『名市大ブックス』シリーズ。既刊の1～12巻に加え、今後も新たなテーマでの出版を計画中です。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/meishidaibooks/>

教員派遣手続きの流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。
※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/haken/>



発行 | 名古屋市立大学社会連携センター(学術課内)

(2023年5月)

電話番号052-853-8308 FAX番号052-841-0261 E-mail shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※このパンフレットは再生紙を使用しています。